

大連理工大から 日本語研修に来学

金沢学院大学と平成13年1月に友好協力に関する協定を締結した大連理工大学の外国語学院教員と学生合わせて4人が2月9日から3日間、本学を訪れ、日本語教育実習の講義を通じて文学部学生と交流しました。

教員と学生ら4人

文学部
学生

日本語教育実習で交流

本学を訪れたのは、中国・大連市にある大連理工大学外国語学院の孟慶栄助教授、趙秋娜助教授、三年生の張俊さん、孫成志さんの四人です。

富山空港で柳澤良一文学部長ら教員、学生が一行を出迎えました。悪天候で到着が二時間近く遅れたため、市内見学もそこそこに金沢市末町の大学キャンパスに入り、ここでも教職員が拍手で一行を迎えました。

一行は尾口村の本学研修センターに宿泊し、日本語教育実習の集中講義の受講者として参加した文学部の学生十三人を交えて、日本語の教え方などについて意見交換しました。

また、一行は講義の合間を縫って二日目の十日に松任市の北國新聞社松任別館を訪れ、最新鋭のカラー輪転機を備えた新聞印刷工場を視察し、キリンビール北陸工場にも足を運びました。また、金沢市内で兼六園なども見学しました。

十一日にはJR金沢駅前のAPAホテルで別れパーティーが開かれました。宮本匡章学長、上山夏樹副理事長らが出席し、今後の末永い相互交流を誓いました。



本学学生と懇談する大連理工大の教員と学生 = 文学部研究室



出迎えた柳澤文学部長と握手する孟助教授 = 富山空港国際線到着ロビー



受講者に英会話を教える笠間、イケダ助教授 = 2号館



児童の振り子の実験を見守る石川助教授 = 加賀市庄小学校

小学校で科学 実験サポーター

石川県教委が今年度から開始した小学校科学実験サポーター派遣事業に金沢学院大学も協力校となり、石川温助教授、佐々木圭一講師が小学校で児童に実験の面白さを教えました。

このうち石川助教授は一月三十日に加賀市庄小学校、二月四日に羽咋市西北台小学校で、それぞれ五年生に振り子と振動についての実験を指導しました。石川教授は「予測していない意見や実験法が飛び出し、子供の純粋な物の見方に触れて良い経験になりました」と感想を話しています。

土曜大学で英会話

金沢学院大学基礎教育機構主催の土曜大学第十回公開講座は二月七日、二号館教室で開かれました。

英会話入門シリーズの第二回「英語ボキャビュラリー・ビルディング」のテーマで、ペギー・イケダ、笠間弘美の両助教授が参加者十人に英単語の発音や連想による単語の記憶を解説しました。受講者は熱心に英会話に取り組み、講師とのコミュニケーションを楽しみました。

次回は二月二十一日に「跳んで跳んでトランポリン」をテーマに、金沢高校体育館で開催されます。

ブレゼン実務士発表会

金沢学院短期大学言語コミュニケーション学部のブレゼンテーション実務士発表会は二月十二日、講堂で開催されました。同実務士の資格取得を目指す石原遥さんと森田典子さんが「私のふるさと」と題してそれぞれの出身地である石川県山中町、福井県美浜町を紹介したり、昨年参加したカナダ研修の体験を踏まえて退職後の生活には日本と海外のどちらが良いかなどをテーマに発表を行いました。

発行・広報室